

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：短期地震予知への挑戦 ILAS Seminar:Challenge to Short-Term Earthquake Prediction			担当者所属 職名・氏名	情報学研究科 教授 梅野 健		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	7(7)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	総合研究10号館222号室(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	オペレーションズ・リサーチ / 数理モデル / 最適化 / 意思決定						
[授業の概要・目的]							
本講義では、工学、経済学、社会科学など、多様な分野での問題解決に有用な数理的手法を扱う。これらの手法は、応用数学の一部であるオペレーションズ・リサーチ（ORと略称）に関連している。ここでは、実世界の問題に対する数学的モデリングや最適化手法を取り上げる。特に、「キャンパス内のOR」として、大学運営に関わる様々な課題、例えばクラス編成、通学ルート選定、入学試験合格者数の決定、大規模クラスの運営方法などに対し、線形計画法、非線形計画法、ポートフォリオ理論、ゲーム理論、投票理論などを考える。本講義の形式は輪読である。							
[到達目標]							
・オペレーションズ・リサーチについての基本的な点を理解する。 ・輪読形式を採用するため、プレゼンテーション能力を向上する。							
[授業計画と内容]							
発表者は自分の担当箇所の内容を事前に予習し、発表の日までに理解しておく。当日は前に出て黒板またはスライドを用いて予習した内容を説明する。学生があるテーマについて主体的に学習したことを発表・説明し、他者の発表に対しても討論できる姿勢を身につける。 第1回：オペレーションズ・リサーチに対する簡単な説明。発表順番を決める。 第2-14回：各日に1名の学生が担当となり、予習した内容を説明する。 第15回：フィードバック。							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
・発表（70％）と討論（30％）の態度を評価する。 ・原則として毎回出席すること。 ・正当な理由を伴わない遅刻、欠席および途中退出は減点の対象とする。							
[教科書]							
テキスト及び関連資料のコピーを配布する。							
[参考書等]							
（参考書） 今野 浩 『数理決定法入門 キャンパスのOR』（朝倉書店）ISBN:9784254126082							
----- ILASセミナー：短期地震予知への挑戦(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：短期地震予知への挑戦(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

発表者は自分の担当箇所の内容を事前に予習し、発表の日までに理解しておく。数式が出てくる箇所もあり、理解できない場合は教員と相談する。

[その他（オフィスアワー等）]

教員のメール：ellen(at)i.kyoto-u.ac.jp
ただし、(at) を @ に変えて送信してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]